

としょえもん

令和2年度
第3号

学校図書館サポートセンター広報紙

令和2年度「調べる学習コンクール」 入賞おめでとう

今年度も図書館振興財団主催の「図書館を使った調べる学習コンクール」に参加しました。
市内応募作品の中から全国コンクールへ6作品を推薦しました。

市長賞「蚕から着物ができるまで」

七国小学校4年 伊藤ゆいな さん

興味を持ち疑問に思ったことを本や博物館で調べ、学びを深めていく姿に成長を感じました。また、どのように表現すれば読み手により伝わるかなど、自ら考え、まとめ上げる良い経験となりました。

今後も広い視野を持ち、不思議に思う気持ちを大



切にしてほしいと思います。
(保護者の方から)

教育長賞「温故知震

～昔の人が教えてくれた防災～

片倉台小学校3年 八木航生 さん

日頃から地震や体の仕組み等、興味のある分野の本や図鑑を読んでいるので、新聞やテレビから得られるニュースもより深く理解できるようになり、さらに自分なりの意見を持つようになりました。興味を探



求し、その際に感じた新たな疑問を翌年のテーマとして調べ続けて3年。子どもの興味を親も一緒に楽しみ応援していきたいです。(保護者の方から)

コンクール 講評

帝京大学教授

鎌田和宏氏



第四回『調べる学習コンクール』には、28点の作品の応募がありました。本年度はコロナウイルスの感染拡大による休校等があった。通常教育活動が実施できませんでした。それにもかかわらず前年の八割程度の作品数が応募されたと言うことは、八王子市に調べる学習が広がりつつある証ではないかと思えます。広がりつつあるとは言いますが、応募の内訳を見ると、小学生170点、中学生112点で、学校数を見ると、小学校は12校、中学校は1校からの応募となっており、まだまだ拡げていく必要があると思えます。

小学校では今年から新しい学習指導要領が完全実施され、中学校では来年から完全実施となります。その学習指導要領では、言葉の力や調べる力を育成することが重視されています。各教科等で学んだ事が、実際に身につく、活用できるようにしているのかは調べる学習に取り組んでみるとよくわかります。どうぞ、積極的に調べる学習に取り組み、コンクールにも応募してください。



令和2年度「調べる学習コンクール」入賞者

	学校名	学年	名前	作品タイトル
市長賞	七国小学校	4	伊藤 ゆいな	蚕から着物ができるまで
教育長賞	片倉台	3	八木 航生	温故知震～昔の人が教えてくれた防災～
優秀賞	大和田	3	内藤 義彬	天気のみしぎ
	元八王子東	3	高野 葵	北あさ川の林にせいそくする虫の生態調査
	小宮	4	松岡 祈	コロナとたたかう司書戦士！ ～新がたコロナウイルスと未来の図書館～
	栢田	4	野澤 愛由	湯殿川の秘密
優良賞	小宮	1	松岡 直	あこがれの大きく大きくどうぐ！！
	別所	1	廣田 琥亜	「目」ってどうして悪くなるの？悪くなった「目」はもとの視力に戻るの？
	別所	1	小出 隼	自分の家に野鳥を呼んで観察するには

作品検討委員の先生方から



市長賞「蚕から着物ができるまで」

七国小学校 伊藤ゆいなさんの作品「蚕から着物ができるまで」が市長賞に選出されました。この作品は蚕から着物ができる過程を調べただけではなく蚕とまゆ、染、文様、さらには装束の歴史まで着物に関係することを自らの視点と興味で調べ上げてまとめている作品です。大変よくまとまって自分自身が疑問に思うことや調べて表現していくことの面白さが作品から伝わって、読んでいて作品に引き込まれていきました。

参考文献や調査した場所も30余りに及んでいてよくいろいろな角度から調べています。

また、表現の仕方の工夫もされており、色彩がとても美しく着物の柄や色合いもよくわかり作品として分かりやすく表現されきれいに仕上がっています。

調べる学習の作品として大変素晴らしい作品です。

樋口 忍

(明星大学客員教授)



教育長賞「温故知震

～昔の人が教えてくれた防災～」

八木航生君の作品が全国コンクールで優良賞を受賞しました。素晴らしい快挙です。八木君の作品テーマが「温故知震」、本来は「知新」ですが心を地震の震に変えています。その意味は「古きをたずねて新しきをしる」で、サブテーマの「昔の人がおしえてくれた防災」が今回調べたタイトルに一致していて発想が素晴らしいです。

今まで起きた主な大震災、日本で起きた地震と津波に対する考え方と防災、また、古くは日本書紀における地震の記述、昔の僧侶が残した防災情報など歴史をさかのぼりしっかり書かれています。「昔の人が教えてくれた防災」大変詳しく調べ上げたことに深く感動しました。

未来に備えて地震・津波から身を守る十カ条にま

とめるなど順序だてて書かれていて素晴らしい研究ができました。今後も八木君の研究を期待しています。

秋本 浩市

(帝京大学客員准教授)



「調べる学習コンクール」全応募数のうち中学生の112点
は別所中学校1年生でした。入賞者もでています。

健闘！別所中学校

多くの作品を応募した別所中学校の取組みを、
担当の先生と学校司書に聞いてみました。

きっかけは「『調べる学習ガイド』を使って調べ学習の方法の
授業を行いたいですね。」という雑談の中から始まりました。



昨年度は理科の「星・宇宙」
の単元で本を使って調べ学習を行い、それを八王子市の「調べる学習コンクール」に応募しました。しかしテーマが限られていて時間もない中で行ったので、今回は説明をもう少し丁寧に行いたい、また対象も1年生がよいだろうと思いました。

そこで今年度は、1年生の5クラスで7月20、
27日と2週にわたって授業を行いました。『調べる
学習ガイド』を一人一部ずつ渡し、パワーポイントと
ガイドを併用して学校司書が30分説明を行い、残り
の20分で実際に図書館の資料やガイドの表を

使って、担当教諭と学校司書が生徒の相談に乗り
ながらテーマを絞っていきました。コロナ禍で図書
館が自由に使えずパソコン利用が多くなってしま
いましたが、夏休みの宿題にしたことで教科を超えた
自由なテーマが出てきて面白かったです。

4月からはタブレットでの検索がより身近になり
ます。本を使った調べ学習の体験は情報収集のス
キルアップのためにより重要になると思います。こ
んな時期だからこそ大切にしたいです。

(別所中学校担当 学校司書)

調べ学習をして「自分の興味のあるテーマを選び、
それについて詳しく調べることでさらに興味がわ
いてさらに調べてみたくなった。」「調べ物はネットで
済ませることが多かったが、本を使って調べるこ
とでより深い情報を得ることが出来た。」などの感想
があり、これからの学習に活かせると感じました。

(担当教諭より)



小学校でも調べる学習に取り組んでいます

地域資料を生かした学習

歴史ある八王子市には、多くの郷土資料があり
ます。児童は、それらを使い自らテーマを決めて地
域を調べます。

童謡『夕焼け小焼け』の故郷である恩方第二小
学校では、「はちとぴ No.46 恩方」を利用しました。

大人向けのフリーペーパー

ですが、ふりがなをつける
などして、ファイルすること
により、インターネットで調



べる前の段階で、活用することができます。地域密
着の多様で素敵な作品ができました。

(どこに載っているかな?)

(恩方第二小学校担当 学校司書)



本とパソコンを使った調べ学習

宇津木台小学校では4年総合で「世界の国調
べ」を行うため、司書が国際関係の本を図書館で
集めて提供しました。

授業の流れは、まず担任
が世界の国々が網羅され
た本を紹介し、普段から興
味を持たせておき、調べ学
習に入るということでした。



(本とタブレットを
使ってみました)

当日の授業には参加できませんでしたが、「検索
用語を変えるようアドバイスするが、インターネット
は対象がわかりにくく、取捨選択が難しい。本は、
子ども向けの文章であることに加え、絵や写真・地
図が分かりやすいため、やはり本が調べやすかつ
た。」(宮岡先生)という感想を頂きました。司書とし
ては、調べ学習を円滑に進められるよう、より一層
資料の充実と支援を行っていきます。

(宇津木台小学校担当 学校司書)

学校司書が郷土学習を支えます



郷土資料は冊子になっているものが少なく、小学生には読みこなせないものが多いようです。他の調べ学習と少し勝手が違う郷土学習に、ぜひ活用していただきたいのが『八王子の歴史文化 百年の計』（八王子市教育委員会生涯学習スポーツ部文化財課編）です。こちらの資料を小学3年生から使えるように、学校司書がやさしい文章に直し、ルビをふり、データ化しました。地区ごとに、概要と遺跡、生業、自然などのキーワードでまとめられています。用語の解説もついています。まずは、「どんな資料？」と司書に声をかけてください。郷土学習を支えたい私たちです。



（八王子市学校司書）

教えて校長先生！おすすめは何ですか？

子どもたちやご家庭の皆さんに
おすすめの本を聞いてみました

『さるのオズワルド』

エゴン・マーチン 作 松岡享子 訳

こぐま社

あるところに、いっぴきのちっちゃなつるがいて——おっとまちがい、さるがいて、なまえをオズワルドといった。

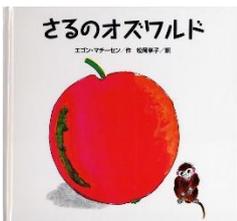
子どもたちはページをめくるたびに、言葉遊びに笑い、「おっと、まちがい」とだんだん声が大きくなっていきます。

毎日楽しく暮らしていた森のさるたち。そこへいばりやのボスぎるがやってきて、やりたい放題。オズワルドも最初はボスぎるの言いなりに…。

やがてある日、オズワルドは叫びます。「いやだ！」その叫び声は他のみんなにも広がっていきます。最後のページのリンゴパーティーで大好きな

リンゴをかじるオズワルドは誇らしげ。小さく弱かったオズワルドの変身ぶりに勇気が出てきます。

（片倉台小学校 山元敬子）



『西の魔女が死んだ』

新潮社・新潮文庫

梨木香歩



中学1年生で不登校の「まい」がイギリス人で魔女の血を引いているという西の魔女こと「おばあちゃん」といっしょに生活していく中で、魔女修行を始めます。修行の内容は「自分で決める」こと。今のまいに一番必要なことを、修行という名目で身に付けさせようとするところがすばらしいと感じました。おばあちゃんの声掛け「アイ・ノウ(I know)」もとても素敵です。「まいのことをすべて受け入れて理解しているよ」ということを、短い言葉ですがしっかり伝えることができます。日本語にはどのような言葉があてはまるだろうと考えさせられました。

子どもにも、子どもとかわる大人にも読んでもらいたい1冊です。

（由木西小学校 沓澤広明）

発行：令和3年（2021年）3月18日

八王子市教育委員会指導課

学校図書館サポートセンター

問合せ：042-664-1135

調べ学習をすると、今まで知らなかった多くのことに会います。さらに、そこからもう一歩踏み出してみてもどうでしょうか。調べた場所に行ってみる、調べたことをやってみる、自分で体験することによって一味違った発見に出会えるかもしれません。

まずは学校図書館に足を運んでみませんか。

（学校図書館サポートセンター R.N）